

## 第 134 回 学長定例記者会見

日時：令和 3 年 6 月 29 日（火） 11：00～11：30

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F1 会議室

※ テレビ会議システムにより、記者会見の様態を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 東千田校舎 A 棟 1F 会議室

※ YouTube による録画配信を実施

### 【発表事項】

1. 「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」として東千田キャンパスの整備に着手します
2. 新たに包括的な連携推進に関する協定を締結します  
(1) 広島大学、東広島市とソフトバンク株式会社との間における協定締結  
(2) 広島大学、東広島市と株式会社フジタとの間における協定締結
3. 「感性 COI」プロジェクト研究成果公開サイトを開設し、12 月に東京でシンポジウムを開催します
4. 広島大学両生類研究センター 新バイオリソース棟竣工に伴い、看板除幕式を行います

### 【お知らせ事項】

1. 地域性種苗を活用した緑化事業への協力を行いました

※ 【発表事項】 2. に関する報道は、7 月 2 日（金）正午以降（調印式終了後）にお願いいたします。

※ 【発表事項】 4. に関連し、学長定例記者会見終了後に、両生類研究センター前にて、看板除幕式を行います。その後、新バイオリソース棟の施設公開を実施します。

### ■ 次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 3 年 7 月下旬

場所： 広島大学 霞キャンパス

令和 3 年 6 月 29 日

「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」として  
東千田キャンパスの整備に着手します

広島大学創立 75 周年記念事業構想として 2019 年 5 月に策定した「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金～広島大学の取組構想～」で掲げている東千田キャンパスと霞キャンパスの整備について、このたび正式に事業決定しました。

広島大学発祥の地である東千田キャンパスについては、「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」とします。法学部と大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻法学・政治学プログラムを東広島キャンパスから東千田キャンパスに移転し、2023 年 4 月から授業開始します。これに合わせて新棟（6 階建て）を建設します。

また、霞キャンパスについては「医療人養成拠点」として整備し、東千田キャンパスで行っていた霞地区学生の教養教育を行うための新棟（5 階建て）を建設します。

法学部移転後の東広島キャンパスの建物については、アリゾナ州立大学のサンダーバードグローバル経営大学院広島大学グローバル校（2022 年 8 月開講予定）をはじめグローバルキャンパスの実現に活用します。

広島大学は 3 年後の 2024 年に迎える創立 75 周年に向けて、本学の主要なキャンパスである東千田キャンパス・東広島キャンパス・霞キャンパスを整備・活用し、地域の活性化をけん引していく取り組みを着実に進めてまいります。

## 【基本コンセプト】

### ○東千田キャンパス

#### 「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」の整備

##### ◇法科大学院（実務法学専攻）と法学部の連携強化

- 「法学部・人間社会科学研究科人文社会科学専攻法学・政治学プログラム」を東広島キャンパスから東千田キャンパスに移転

＊教養教育から専門教育を東千田キャンパスで実施

ただし、総合研究大学のメリットを活かすため、東広島キャンパスでの教養教育も実施（週 1 回程度）

- 「法曹コース」（2021 年 4 月設置）の修学環境の整備
- 法科大学院の教育環境の充実
- 法学部・経済学部夜間主コースのカリキュラムの充実

- ◇リカレント教育と社会人教育の拠点づくり
  - 社会人向けの学部教育・大学院教育の充実
    - ・社会人正規学生，科目等履修生，履修証明制度
    - ・講演会や公開講座の実施等
- ◇学生・留学生と企業・行政との交流の場を創設
  - ・交流事業
  - ・法律相談
  - ・各種セミナー・シンポジウム

## ○霞キャンパス

### 「医療人養成拠点」の整備

- ◇教養教育の実施
  - 東千田キャンパスの整備に伴い霞地区学生の教養教育を東千田キャンパスから霞キャンパスで実施
    - \*ただし，総合研究大学のメリットを活かすため，現行通り東広島キャンパスでの教養教育も実施（週1回程度）
- ◇学会や研修会の実施
  - 小学会や研修会等で活用できるホールの整備

## ○東広島キャンパス・法学部移転跡地（建物）

### グローバルキャンパスの実現に活用

## 【整備内容】

### ○東千田キャンパス

- ◇建物新営 6,183 m<sup>2</sup>（6階建）
- ◇既設棟改修 2,000 m<sup>2</sup>

### ○霞キャンパス

- ◇建物新営 3,600 m<sup>2</sup>（5階建）
- \*使用していない中央機械棟を取り壊し，跡地に新営

## 【工程】

### ○東千田キャンパス

- ・新営工事 2022年1月～2023年1月
- ・改修工事 2022年12月～2023年2月
- ・引越等 2023年2月～3月
- ・共用（授業開始） 2023年4月～

### ○霞キャンパス

- ・取り壊し工事（中央機械棟） 2021年9月～2022年1月
- ・新営工事 2022年1月～10月
- ・引越等 2022年11年
- ・共用（授業開始） 2022年12月～

## 【整備費】

- ◇総事業費（移転費，什器，備品等は別途）
  - 約40億円（概算額）
- ◇財源
  - 広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金、目的積立金

【お問い合わせ先】

財務・総務室

副理事（広報担当） 山内

TEL：082-424-6017

# 東千田キャンパス整備計画



広島大学



## 法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点

学部	大学院	学内共同教育研究施設
<b>法学部</b> 法学科 昼間コース (580) 法曹コース 夜間主コース (140) 経済学部 夜間主コース (190) 附属地域経済システム研究センター	<b>人間社会科学研究所</b> 実務法学専攻(法科大学院) 実務法学プログラム 人文社会科学専攻 法学・政治学プログラム 経済学プログラム ファイナンス分野 マネジメントプログラム 附属リーガル・サービス・センター 附属広島医療社会科学研究所 附属マネジメント研究センター	平和センター (旧理学部1号館に移転予定) AI・データイノベーション教育研究センター 建物整備 新営建物 供用開始 建築面積：1,050㎡ 令和5年4月 延床面積：6,183㎡ 階数：6階 建物高さ：30m 既存建物 改修：2,000㎡

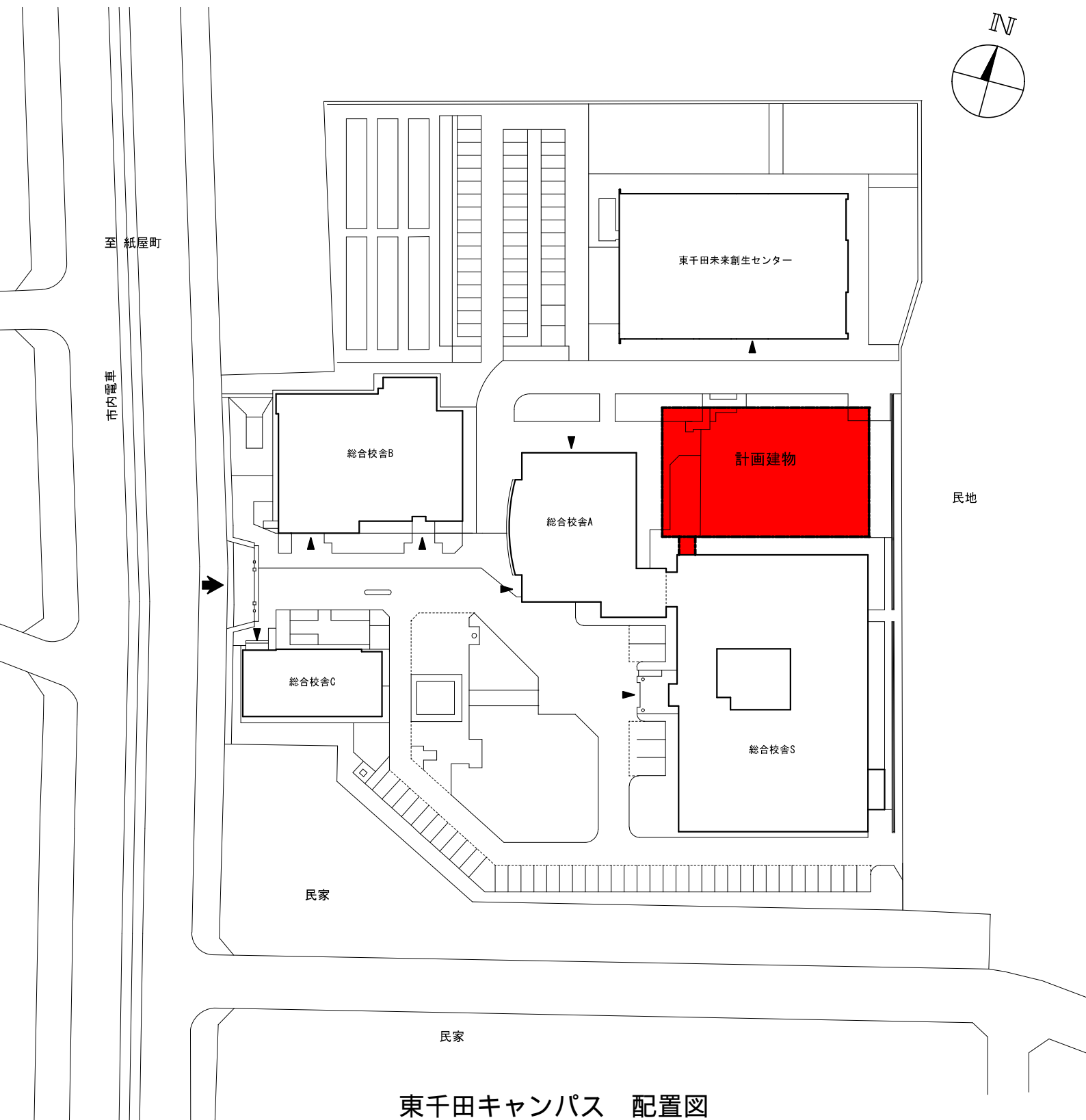
### 機能強化

学部教育	大学院教育	リカレント教育	研究	学生・留学生と企業・行政との交流の場
<ul style="list-style-type: none"> <li>法的素養(リーガルマインド)と政策形成能力を備えた人材の養成</li> <li>経済・経営問題の分析能力と国際的視野を併せ持った人材の養成</li> <li>平和に関する教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法曹・法律家の養成</li> <li>社会科学分野における研究者及び高度専門職業人の養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人向け学部教育</li> <li>科目等履修生の受入れ</li> <li>社会人向け大学院教育</li> <li>履修証明プログラム</li> <li>教員免許状更新講習</li> <li>公開講座</li> <li>AI・データ解析・ICT技術のリカレント教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法学, 政治学, 社会学, 経済学等の社会科学分野の研究</li> <li>平和科学に関する研究・調査</li> <li>AI・データ解析・ICT技術の実践的な研究開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流事業(東千田未来創生センター等)</li> <li>法律相談</li> <li>各種セミナー・シンポジウム等</li> </ul>

東広島・霞キャンパスの部局等

# 東千田キャンパス

## 法曹養成を核とした人文社会科学系拠点整備事業

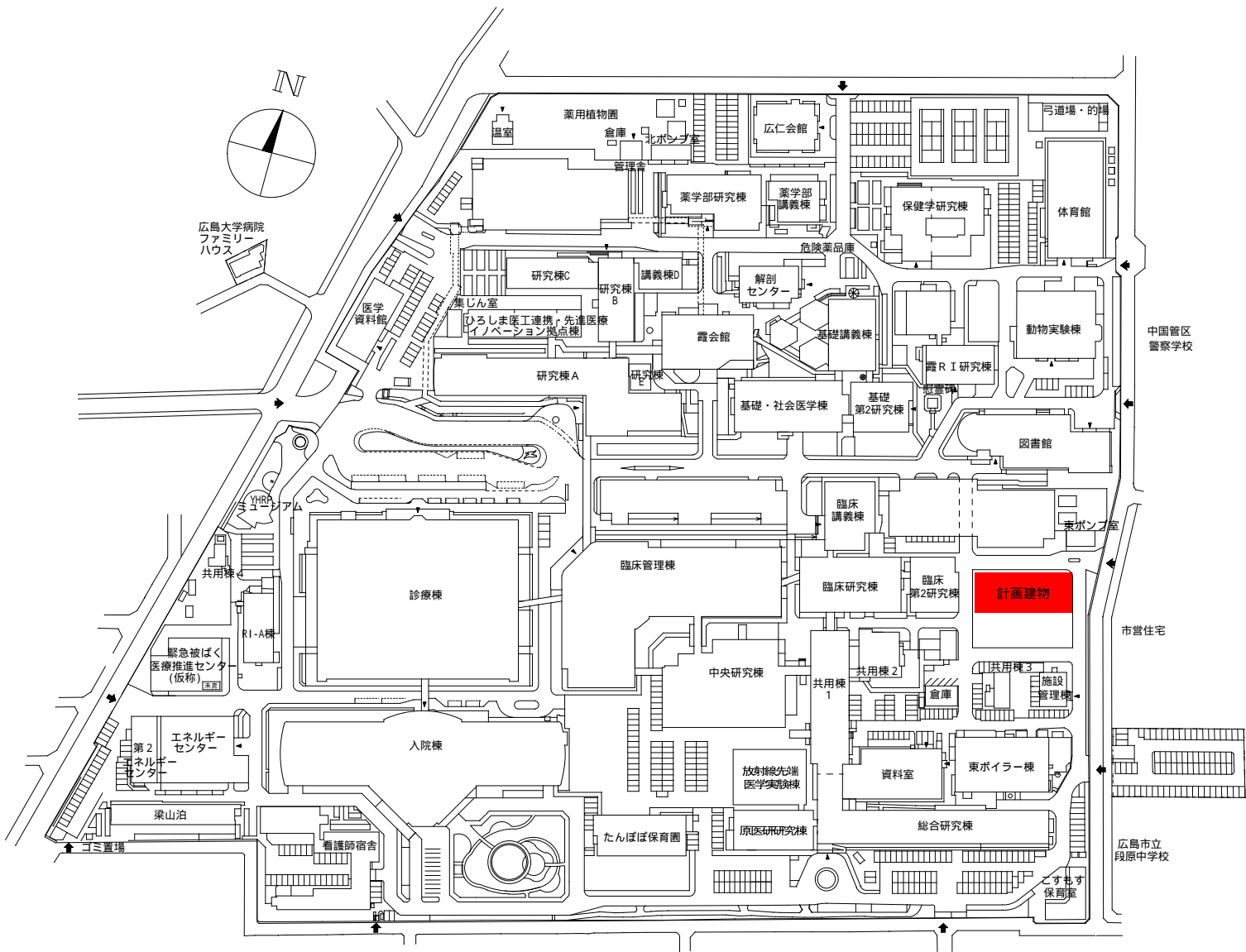


東千田キャンパス 配置図

至 宇品

階数	6階
建築面積	1,050 <sup>m<sup>2</sup></sup>
延べ面積	6,183 <sup>m<sup>2</sup></sup>

# 霞キャンパス 医療人養成拠点整備事業



霞キャンパス 配置図

階数	5階
建築面積	720m <sup>2</sup>
延べ面積	3,600m <sup>2</sup>

令和 3 年 6 月 29 日

新たに包括的な連携推進に関する協定を締結します

地方創生の産官学連携モデルとして、広島大学、東広島市とソフトバンク株式会社、株式会社フジタは、Society5.0 及びスマートシティの実現や、広島大学 東広島キャンパスのスマート化・グリーン化などを主な内容とする「包括的な連携推進に関する協定」を締結します。

協定は、広島大学、東広島市とソフトバンク株式会社、株式会社フジタが、イノベーションの創出を支援する環境の整備や、学術研究、人材育成または産官学連携面等により Society5.0 及びスマートシティの実現とその海外展開を推進し、国内及び世界の発展に寄与すること等を目的としています。

調印式及び記者会見は 7 月 2 日（金）に西条 HAKUWA ホテルで行いますので、是非ご参加ください。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

渡辺

TEL：082-424-4457

E-mail：tgo@hiroshima-u.ac.jp





令和3年6月29日

## 国立大学法人広島大学、東広島市及びソフトバンク株式会社との間における包括的な連携推進に関する協定の締結について

地方創生の産官学連携モデルとして、国立大学法人広島大学（以下「広島大学」）、東広島市とソフトバンク株式会社は、第5世代移動通信システム（5G）等を活用した Society5.0 及びスマートシティの実現や、広島大学 東広島キャンパスのスマート化・グリーン化などを主な内容とする、「包括的な連携推進に関する協定」を締結します。

本協定は、広島大学、東広島市とソフトバンク株式会社が、イノベーションの創出を支援する環境の整備や、学術研究、人材育成または産官学連携面等により Society5.0 及びスマートシティの実現とその海外展開を推進し、国内及び世界の発展に寄与することを目的としています。

つきましては、調印式及び記者会見を下記のとおり行いますので、ご取材賜りたく、ご案内申し上げます。

### 記

#### <調印式及び記者会見>

【日時】 7月2日（金）10：30～11：15（受付開始：10：15）

【場所】 西条 HAKUWA ホテル 2階 ダイヤモンド  
（東広島市西条下見6丁目5番45号）

【出席者】 国立大学法人広島大学 学長 越智 光夫  
東広島市 市長 高垣 廣徳  
ソフトバンク株式会社 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO  
宮川 潤一

※12：00 から担当者が質疑応答に対応させていただきます。

#### <連携内容>

- (1) 広島大学東広島キャンパスのスマート化・グリーン化に関する事。
- (2) 東広島市及び周辺地域での Society5.0 やスマートシティの実現に関する事。
- (3) Society5.0 やスマートシティの実現に必要なイノベーションの創出支援に関する事。
- (4) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な学術研究に関する事。
- (5) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な教育に関する事。
- (6) Society5.0 やスマートシティの国際展開に関する事。
- (7) デジタルインフラ（第5世代移動通信システム（5G）、モビリティ、デジタルツインなど）を活用し、新たなビジネスモデルを生み出す事。
- (8) データ連携基盤を活用し新たなサービス横連携モデル（キャンパス内外での小売 MaaS、学生や住民参加型データ活用、パブリックヘルス（公衆衛生）・地域医療情報化推進、デジタル防災、観光 MaaS など）の早期社会実装を目指す事。
- (9) その他、3 者が認める事項。

## 【会場地図】



## 【お問い合わせ先】

国立大学法人広島大学 学術・社会連携室 渡辺

TEL : 082-424-4457

E-mail : tgo@hiroshima-u.ac.jp

東広島市 総務部政策推進監 栗栖

TEL : 082-420-0917

E-mail : hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp

ソフトバンク株式会社 広報本部 高橋

TEL : 03-6889-2301 (携帯電話番号 : 080-4373-5918)

E-mail : sbpr@g.softbank.co.jp



令和3年6月29日

## 国立大学法人広島大学、東広島市及び株式会社フジタとの間における包括的な連携推進に関する協定の締結について

地方創生の新たな産官学連携モデルとして、国立大学法人広島大学、東広島市と株式会社フジタは、Society5.0 及びスマートシティの実現、東広島キャンパスのスマート化・グリーン化を中心とする、「包括的な連携推進に関する協定」を締結します。

本協定は、広島大学、東広島市と株式会社フジタが、イノベーションを創出する環境の形成、学術研究面、人材育成面または産官学連携面等での国際的な展開を相互に連携しながら推進し、日本国及び地域から世界の発展に寄与することを目的としています。

つきましては、調印式及び記者会見を下記のとおり行いますので、ご案内申し上げます。

### 記

#### <調印式及び記者会見>

- 【日時】 7月2日(金) 11:15 ~ 12:00  
【場所】 西条 HAKUWA ホテル 2階 (ダイヤモンド)  
(東広島市西条下見6丁目5番45号)  
【出席者】 国立大学法人広島大学 学長 越智 光夫  
東広島市 市長 高垣 廣徳  
株式会社フジタ 代表取締役社長 奥村 洋治

#### <連携内容>

- (1) 広島大学東広島キャンパスのスマート化・グリーン化に関すること。
- (2) 東広島市及び周辺地域での Society5.0 やスマートシティの実現に関すること。
- (3) Society5.0 やスマートシティの実現に必要なイノベーションの創出支援に関すること。
- (4) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な学術研究に関すること。
- (5) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な教育に関すること。
- (6) Society5.0 やスマートシティの国際展開に関すること。
- (7) その他、3者が認める事項。

## 【会場地図】



## 【お問い合わせ先】

広島大学 学術・社会連携室 渡辺

TEL : 082-424-4457

E-mail : tgo@hiroshima-u.ac.jp

東広島市 総務部政策推進監 栗栖

TEL : 082-420-0917

E-mail : hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp

株式会社フジタ 広島本店 内田

TEL : 082-207-0580

E-mail : yuchida@fujita.co.jp

令和 3 年 6 月 29 日

「感性 COI」プロジェクト研究成果公開サイトを開設し、  
12 月に東京でシンポジウムを開催します

広島大学「脳・こころ・感性科学研究センター」を中核として推進中の研究プロジェクト「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点（通称感性 COI 拠点）」の成果をいち早く社会で活用していただくため、本年度末の終了を前に成果の一部を公開します。

本プロジェクトは、文部科学省が推進する「センター・オブ・イノベーションプログラム（COI）」の 1 つです。

10 年後のあるべき姿として人・モノ・社会が「感性」によって繋がり、調和する社会を目指し、最先端の脳科学にもとづく、感性の可視化、測定ツール開発に取り組んできました。

今年度末をもって 9 年間の事業が終了するにあたり、連携先の生理研サテライト、光創起サテライトとともに創出した感性計測ツール群を「統合解析パッケージ」としてとりまとめており、今回その一部を早期公開することとしました。

なお、12 月 8 日に東京国際フォーラム（予定）とオンライン配信のハイブリッド形式の公開シンポジウムの開催を企画しております。その際には今回公開できなかった成果についてもご紹介させていただく予定ですので、ぜひご参加ください。

【早期公開ページ URL】 <https://kansei-dx.jp> （公開済）

【公開シンポジウム開催予定】 2021 年 12 月 8 日（水）午後

【お問い合わせ先】

脳・こころ・感性科学研究センター

主任 佐々 卓哉

<https://bmk.hiroshima-u.ac.jp/contact/>

令和 3 年 6 月 29 日

広島大学両生類研究センター 新バイオリソース棟  
竣工に伴い、看板除幕式を行います

広島大学両生類研究センターは、カエルやイモリの研究を専門とする世界四大研究所の 1 つです。文部科学省が推進するナショナルバイオリソースプロジェクトの中核拠点として、進化や生態、再生、遺伝病等の研究を展開する傍ら、研究用の貴重なカエルやイモリを国内外の大学等に提供しています。

この生物資源（バイオリソース）事業を強化するために、鉄筋 3 階建の新棟が完成しました。1 階にイモリやアホロートル、アフリカツメガエルの飼育室、2 階にネッタイツメガエルの飼育室を備え、巨大な水循環濾過装置を稼働させることによって、総計 1 万匹以上を飼育繁殖させることができます。

また、3 階には、動物を生かしたまま細胞を観察できる顕微鏡室や、遺伝情報の大規模解析装置をもつゲノム解析室、ポップな内装の会議室を備えています。まさに世界に誇るオンリーワンの共同研究施設です。

記

日時：令和 3 年 6 月 29 日（火）11 時 30 分～11 時 45 分  
※学長定例記者会見後

場所：東広島キャンパス 両生類研究センター前

- 次第：1. 開式の辞  
2. 越智学長 挨拶  
3. 荻野両生類研究センター長 挨拶  
4. 看板除幕  
5. 閉式の辞

※ 除幕式終了後、新バイオリソース棟の施設公開を実施いたします。  
(30 分程度)

【お問い合わせ先】

両生類研究センター  
センター長・教授 荻野 肇  
TEL:082-424-7482  
E-mail: oginohaj@hiroshima-u.ac.jp



<広島大学両生類研究センター 新バイオリソース棟について>

【建物名称】 広島大学両生類研究センター バイオリソース棟

【建物概要】 鉄筋コンクリート造 3階建  
 建築面積 226.35 m<sup>2</sup>  
 延床面積 461.38 m<sup>2</sup>  
 2020年9月着工、2021年3月竣工

【各フロア概要】

3F	共同利用共同研究エリア イメージング室、顕微鏡室、ゲノム解析室、サーバー室、会議室、給湯室
2F	飼育エリア（ナショナルバイオリソース専用） ネットイヅメガエル飼育室
1F	飼育エリア イベリアトゲイモリ飼育室、アホロートル飼育室、アフリカツメガエル飼育室、排水処理室

【建物外観】





令和 3 年 6 月 29 日

地域性種苗を活用した緑化事業への協力を行いました

広島大学大学院統合生命科学研究科附属宮島自然植物実験所は、広島県廿日市市宮島にある一般廃棄物処理場の嵩上げ工事の際の緑化工について、協力を行いました。

宮島の貴重な自然を守るため、広島県の策定した保護管理計画に基づき、島内産のタネまきを令和 3 年 3 月 26 日に、地域性種苗を利用した植栽を 5 月 11 日にそれぞれ実施しました。

今回利用したタネは宮島島内で許可を得て採集されたものです。また苗は、宮島自然植物実験所の指導のもと、廿日市市立宮島小中学校（宮島学園）の児童・生徒と廿日市市宮島支所の方々が島内産のタネから育てたものです。

これは地域の生物多様性を守るとともに、防災・減災の観点から、平成 26 年から進めている事業です。



植栽に用いた地域性種苗（2021 年 5 月 11 日）



タネまきおよび地域性種苗植栽後の現地の様子（2021 年 5 月 11 日）

【お問い合わせ先】

統合生命科学研究科  
附属宮島自然植物実験所 坪田 博美・内田 慎治  
TEL:0829-44-2025 FAX:0829-40-2001



令和 3 年 6 月 29 日

新たに包括的な連携推進に関する協定を締結します

地方創生の産官学連携モデルとして、広島大学、東広島市とソフトバンク株式会社、株式会社フジタは、Society5.0 及びスマートシティの実現や、広島大学 東広島キャンパスのスマート化・グリーン化などを主な内容とする「包括的な連携推進に関する協定」を締結します。

協定は、広島大学、東広島市とソフトバンク株式会社、株式会社フジタが、イノベーションの創出を支援する環境の整備や、学術研究、人材育成または産官学連携面等により Society5.0 及びスマートシティの実現とその海外展開を推進し、国内及び世界の発展に寄与すること等を目的としています。

調印式及び記者会見は 7 月 2 日（金）に西条 HAKUWA ホテルで行いますので、是非ご参加ください。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

渡辺

TEL：082-424-4457

E-mail：tgo@hiroshima-u.ac.jp



令和3年6月29日

国立大学法人広島大学、東広島市及びソフトバンク株式会社との間における包括的な連携推進に関する協定の締結について

地方創生の産官学連携モデルとして、国立大学法人広島大学（以下「広島大学」）、東広島市とソフトバンク株式会社は、第5世代移動通信システム（5G）等を活用した Society5.0 及びスマートシティの実現や、広島大学 東広島キャンパスのスマート化・グリーン化などを主な内容とする、「包括的な連携推進に関する協定」を締結します。

本協定は、広島大学、東広島市とソフトバンク株式会社が、イノベーションの創出を支援する環境の整備や、学術研究、人材育成または産官学連携面等により Society5.0 及びスマートシティの実現とその海外展開を推進し、国内及び世界の発展に寄与することを目的としています。

つきましては、調印式及び記者会見を下記のとおり行いますので、ご取材賜りたく、ご案内申し上げます。

記

<調印式及び記者会見>

【日時】 7月2日（金）10：30～11：15（受付開始：10：15）

【場所】 西条 HAKUWA ホテル 2階 ダイヤモンド  
（東広島市西条下見6丁目5番45号）

【出席者】 国立大学法人広島大学 学長 越智 光夫  
東広島市 市長 高垣 廣徳  
ソフトバンク株式会社 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO  
宮川 潤一

※12：00 から担当者が質疑応答に対応させていただきます。

<連携内容>

- (1) 広島大学東広島キャンパスのスマート化・グリーン化に関すること。
- (2) 東広島市及び周辺地域での Society5.0 やスマートシティの実現に関すること。
- (3) Society5.0 やスマートシティの実現に必要なイノベーションの創出支援に関すること。
- (4) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な学術研究に関すること。
- (5) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な教育に関すること。
- (6) Society5.0 やスマートシティの国際展開に関すること。
- (7) デジタルインフラ（第5世代移動通信システム（5G）、モビリティ、デジタルツインなど）を活用し、新たなビジネスモデルを生み出すこと。
- (8) データ連携基盤を活用し新たなサービス横連携モデル（キャンパス内外での小売 MaaS、学生や住民参加型データ活用、パブリックヘルス（公衆衛生）・地域医療情報化推進、デジタル防災、観光 MaaS など）の早期社会実装を目指すこと。
- (9) その他、3 者が認める事項。

## 【会場地図】



## 【お問い合わせ先】

国立大学法人広島大学 学術・社会連携室 渡辺

TEL : 082-424-4457

E-mail : tgo@hiroshima-u.ac.jp

東広島市 総務部政策推進監 栗栖

TEL : 082-420-0917

E-mail : hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp

ソフトバンク株式会社 広報本部 高橋

TEL : 03-6889-2301 (携帯電話番号 : 080-4373-5918)

E-mail : sbpr@g.softbank.co.jp



令和3年6月29日

## 国立大学法人広島大学、東広島市及び株式会社フジタとの間における包括的な連携推進に関する協定の締結について

地方創生の新たな産官学連携モデルとして、国立大学法人広島大学、東広島市と株式会社フジタは、Society5.0 及びスマートシティの実現、東広島キャンパスのスマート化・グリーン化を中心とする、「包括的な連携推進に関する協定」を締結します。

本協定は、広島大学、東広島市と株式会社フジタが、イノベーションを創出する環境の形成、学術研究面、人材育成面または産官学連携面等での国際的な展開を相互に連携しながら推進し、日本国及び地域から世界の発展に寄与することを目的としています。

つきましては、調印式及び記者会見を下記のとおり行いますので、ご案内申し上げます。

### 記

#### <調印式及び記者会見>

- 【日時】 7月2日(金) 11:15 ~ 12:00  
【場所】 西条 HAKUWA ホテル 2階 (ダイヤモンド)  
(東広島市西条下見6丁目5番45号)  
【出席者】 国立大学法人広島大学 学長 越智 光夫  
東広島市 市長 高垣 廣徳  
株式会社フジタ 代表取締役社長 奥村 洋治

#### <連携内容>

- (1) 広島大学東広島キャンパスのスマート化・グリーン化に関する事。
- (2) 東広島市及び周辺地域での Society5.0 やスマートシティの実現に関する事。
- (3) Society5.0 やスマートシティの実現に必要なイノベーションの創出支援に関する事。
- (4) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な学術研究に関する事。
- (5) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な教育に関する事。
- (6) Society5.0 やスマートシティの国際展開に関する事。
- (7) その他、3者が認める事項。

## 【会場地図】



## 【お問い合わせ先】

広島大学 学術・社会連携室 渡辺

TEL : 082-424-4457

E-mail : tgo@hiroshima-u.ac.jp

東広島市 総務部政策推進監 栗栖

TEL : 082-420-0917

E-mail : hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp

株式会社フジタ 広島本店 内田

TEL : 082-207-0580

E-mail : yuchida@fujita.co.jp